

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 8 月 20 日 (2020.8.20)

【公開番号】特開 2019-21969 (P2019-21969A)

【公開日】平成 31 年 2 月 7 日 (2019.2.7)

【年通号数】公開・登録公報 2019-005

【出願番号】特願 2017-135659 (P2017-135659)

【国際特許分類】

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

H 0 4 N 1/32 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/00 1 0 7 Z

H 0 4 N 1/00 C

H 0 4 N 1/32 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 7 月 1 日 (2020.7.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

スキャナを備え、データを第 1 の送信先に送信する送信ジョブを実行できる画像処理装置であって、

送信ジョブの終了を通知する設定をユーザに設定させる設定手段と、

前記スキャナを用いて得られた画像データを所定のフォーマットのファイルに変換する変換手段と、

前記ファイルを送信するための送信ジョブを実行する実行手段と、

前記送信ジョブの終了に従い、前記設定手段による設定に基づき、当該送信ジョブの終了を第 2 の送信先に通知する通知手段と、を有し、

前記通知手段は、

前記変換手段により、暗号化することなく、前記ファイルへの変換が行われていた場合には、前記送信ジョブの終了に従い、前記画像データと、該送信ジョブの終了と、を前記第 2 の送信先に通知し、

前記変換手段により、暗号化された前記ファイルへの変換が行われていた場合には、前記送信ジョブの終了に従い、前記画像データなしに、該送信ジョブの終了を前記第 2 の送信先に通知することを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】

前記設定手段による設定は、前記通知手段による通知を、前記送信ジョブが終了すると常に通知するか、或いは、前記送信ジョブがエラー終了した場合に通知するかの設定を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 3】

前記設定手段による設定は、前記第 2 の送信先として、アドレス帳からの選択、或いは、前記ユーザの宛先のいずれかの設定を含むことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の画像処理装置。

【請求項 4】

前記設定手段による設定は、前記通知手段による通知に前記送信ジョブで送信される画

像データを含めるかどうかの設定を含むことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の画像処理装置。

【請求項 5】

前記送信ジョブで暗号化されたファイルが送信される場合、前記通知手段による通知に対して当該ファイルに含まれる画像データを含めるための設定をできなくすることを特徴とする請求項 4 に記載の画像処理装置。

【請求項 6】

スキャナを備え、データを第 1 の送信先に送信する送信ジョブを実行できる画像処理装置の制御方法であって、

送信ジョブの終了を通知する設定をユーザに設定させる設定工程と、

前記スキャナを用いて得られた画像データを所定のフォーマットのファイルに変換する変換工程と、

前記ファイルを送信するための送信ジョブを実行する実行工程と、

前記送信ジョブの終了に従い、前記設定工程による設定に基づき、該送信ジョブの終了を第 2 の送信先に通知する通知工程と、を有し、

前記通知工程では、

前記変換工程で、暗号化することなく、前記ファイルへの変換が行われていた場合には、前記送信ジョブの終了に従い、前記画像データと、該送信ジョブの終了と、が前記第 2 の送信先に通知され、

前記変換工程で、暗号化された前記ファイルへの変換が行われていた場合には、前記送信ジョブの終了に従い、前記画像データなしに、該送信ジョブの終了が前記第 2 の送信先に通知されることを特徴とする制御方法。

【請求項 7】

コンピュータを、請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の画像処理装置の各手段として機能させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記目的を達成するために本発明の一態様に係る画像処理装置は以下のような構成を備える。即ち、

スキャナを備え、データを第 1 の送信先に送信する送信ジョブを実行できる画像処理装置であって、

送信ジョブの終了を通知する設定をユーザに設定させる設定手段と、

前記スキャナを用いて得られた画像データを所定のフォーマットのファイルに変換する変換手段と、

前記ファイルを送信するための送信ジョブを実行する実行手段と、

前記送信ジョブの終了に従い、前記設定手段による設定に基づき、当該送信ジョブの終了を第 2 の送信先に通知する通知手段と、を有し、

前記通知手段は、

前記変換手段により、暗号化することなく、前記ファイルへの変換が行われていた場合には、前記送信ジョブの終了に従い、前記画像データと、該送信ジョブの終了と、を前記第 2 の送信先に通知し、

前記変換手段により、暗号化された前記ファイルへの変換が行われていた場合には、前記送信ジョブの終了に従い、前記画像データなしに、該送信ジョブの終了を前記第 2 の送信先に通知することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 6 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 6 0 】

先ず S 1 3 0 1 で C P U 2 1 1 は、ユーザからファイル形式の設定指示を待つ。この指示は、画像データを送信する送信アプリケーションにより表示される画面（不図示）から指示されても、或いは、ユーザが操作部 2 2 0 で所定の操作を行うことにより指示されても良い。ユーザからファイル形式の設定指示を入力すると S 1 3 0 2 へ進む。S 1 3 0 2 で C P U 2 1 1 は、ジョブ終了通知が設定されているかどうかを、前述の R A M 2 1 3 の通知フラグを参照して判定する。ここでジョブ終了通知が設定されていると判定すると S 1 3 0 3 に進み、そうでないときは S 1 3 0 5 へ進む。S 1 3 0 3 で C P U 2 1 1 は、ジョブ終了通知の設定でボタン 5 0 6 により「原稿を添付」が設定されているかどうか、R A M 2 1 3 を参照して判定する。ここで「原稿を添付」が設定されていると判定すると S 1 3 0 4 に進み、そうでないときは S 1 3 0 5 へ進む。S 1 3 0 4 で C P U 2 1 1 は、図 1 0 の画面で、「暗号化する」を指示するボタン 1 0 0 6 を網掛け、或いはグレーアウトして表示し、「暗号化する」を指示できないようにして、この処理を終了する。一方、S 1 3 0 5 で C P U 2 1 1 は、図 1 0 のボタン 1 0 0 6 を通常通り表示して、「暗号化する」の設定を可能にしてこの処理を終了する。